

グループネットワーク

●関連会社案内



MIMAKI USA, INC.
150 Satellite Boulevard, suite A,
Suwanee, GA 30024
<http://www.mimakiusa.com/>



MIMAKI EUROPE B.V.
Stammerdijk 7E, 1112AA Diemen,
The Netherlands
<http://www.mimakieurope.com/>



株式会社グラフィッククリエーション
〒141-0001 東京都品川区
北品川5-9-41 TKB御殿山ビル
<http://www.graphic-creation.com/>



御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司
平湖御牧貿易有限公司
浙江省平湖市經濟開發區興平一路
西側宏建路北側



台湾御牧股份有限公司
台中縣潭子鄉中山路3段37號



株式会社ミマキプレジジョン
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3
<http://www.mimakiprecision.co.jp/>



株式会社ウイズテック
〒192-0903
東京都八王子市万町1-3
<http://www.wiztec.co.jp/>



Mimaki-nbn GmbH
Gewerbebestr. 11, 82211 Herrsching,
Germany
<http://www.mimaki.de/>



上海御牧貿易有限公司
上海市田林路140号16单元西101室
<http://www.mimaki-smt.cn/>



MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA
Rua General Valdomiro de Lima, 275 Jabaquara, Sao Paulo-SP
<http://www.mimakibrasil.com.br/>



MIMAKI KANPHOR INDIA PRIVATE LIMITED
232 Udyog Vihar, Phase IV Gurgaon, Haryana
<http://www.mimakikanphor.com/>



PT. MIMAKI INDONESIA
Jl Danau Sunter Barat Blok A3 No.13
Jakarta Utara 14350
<http://www.mimaki.co.id/>

●国内事業所案内



★ **本社・牧家工場** 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
加沢工場 〒389-0514 長野県東御市加沢1333-3
長野開発センター 〒381-0025 長野県長野市北長池520-1
東京支社 〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-41
TKB御殿山ビル
大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-13-41
NF江坂ビル
札幌営業所 〒060-0031 北海道札幌市中央区北一条東
2-5-2札幌泉 第2ビル 1F

仙台営業所 〒984-0825 宮城県仙台市若林区古城3-10-7
長野営業所 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
さいたま営業所 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-1-2
明治安田生命大宮ビル1F
金沢営業所 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2-12-6
名古屋営業所 〒468-0052 愛知県名古屋市中区井口1-309
広島営業所 〒731-0101 広島県広島市安佐南区八木1-7-25
福岡営業所 〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉家5-11-15

株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日
単元株式数 100株
株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社ホームページ(<http://www.mimaki.co.jp/>)
に掲載いたします。ただし、電子公告によること
ができないやむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所 大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)
証券コード 6638
(ご注意)
1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されて
いる口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されて
いる証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)では
お取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が
口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)
にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Innovation.

BUSINESS REPORT 2012

2012年3月期 第37期報告書 2011.4.1-2012.3.31

株式会社 **ミマキエンジニアリング** 証券コード 6638

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役会長 池田 明
代表取締役社長 小林 久之

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第37期(2012年3月期)報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

●第37期の総括 第37期は新規投入したJV34-260(SG商品)、UJF-3042(IP商品)、TS34-1800A(TA商品)の売上貢献により、売上高は268億76百万円(対前期比4.9%増)となりました。一方、円高へのシフトと定着を想定し、主力エントリーモデルインクジェットプリンタの生産を中国製造子会社に積極的に移管し、原価低減に努めてまいりました。しかし、コストダウンを大きく上回る急激な円高(対€約20%)により、経常利益が21.9%減少する結果となりました。

●市場環境の予測 為替環境は、不安定ながら年間を通しては円高の定着状態が継続するものと想定し、社内為替レートを€=100円、\$=80円に設定いたしました。

当社の主力となるサイングラフィックス(SG)市場はデジタル化が進み、先進国においては買い替え需要が主となっています。従来の溶剤インクジェットプリンタに比べ、環境に優しくエネルギー消費の少ない商品が強く

望まれています。一方、新興国においては依然低コスト溶剤インクジェットプリンタが中心となっていますが、地域経済の発展に伴い高画質化・高信頼性への要求が高まっていくと想定されます。

インダストリアルプロダクト(IP)、テキスタイル・アパレル(TA)市場においては、デジタルプリントの浸透比率がまだ低いものの、高速化・無人化・多様性といった機能・性能を向上させた新製品の発売により、急速な成長が予測されます。

●今後の事業の見通し 先進国の強いEco要請に応じ、水性ラテックスインク、溶剤UVインクを用いたインクジェット新製品のラインアップ及び、SG・IP・TA各市場向けに高速フラグシップ機の投入により、売上高298億77百万円(対前期比11.2%増)を目指します。特に、成長著しい新興国向けに企画・開発した新製品により、対前期比約1.5倍の売上高を目指します。

新興国における売上増加を実現するため、各国販売子会社の販売体制と保守体制の強化を行います。

プラットフォーム化設計を進め、エントリー機とハイプロダクション機それぞれ、多用途展開を図った新製品群の市場投入を行います。

生産においては、国内の生産規模を維持しながら、中国製造子会社の生産規模を増強することにより、為替変動に強い体質への転換を図りコスト競争力を高めめます。

●社長交代について 第38期からの、市場要求の変化と多様性に応えた新製品開発及び円高に耐え得る生産体制の強化を中期的に行うため、この度の株主総会後社長を交代いたしました。新社長には、開発・生産部門を担当してまいりました小林久之がその任に当たります。

池田会長と共に、常に業界のイノベーターとして、「新しさの違い」を提案する会社を目指してまいります。

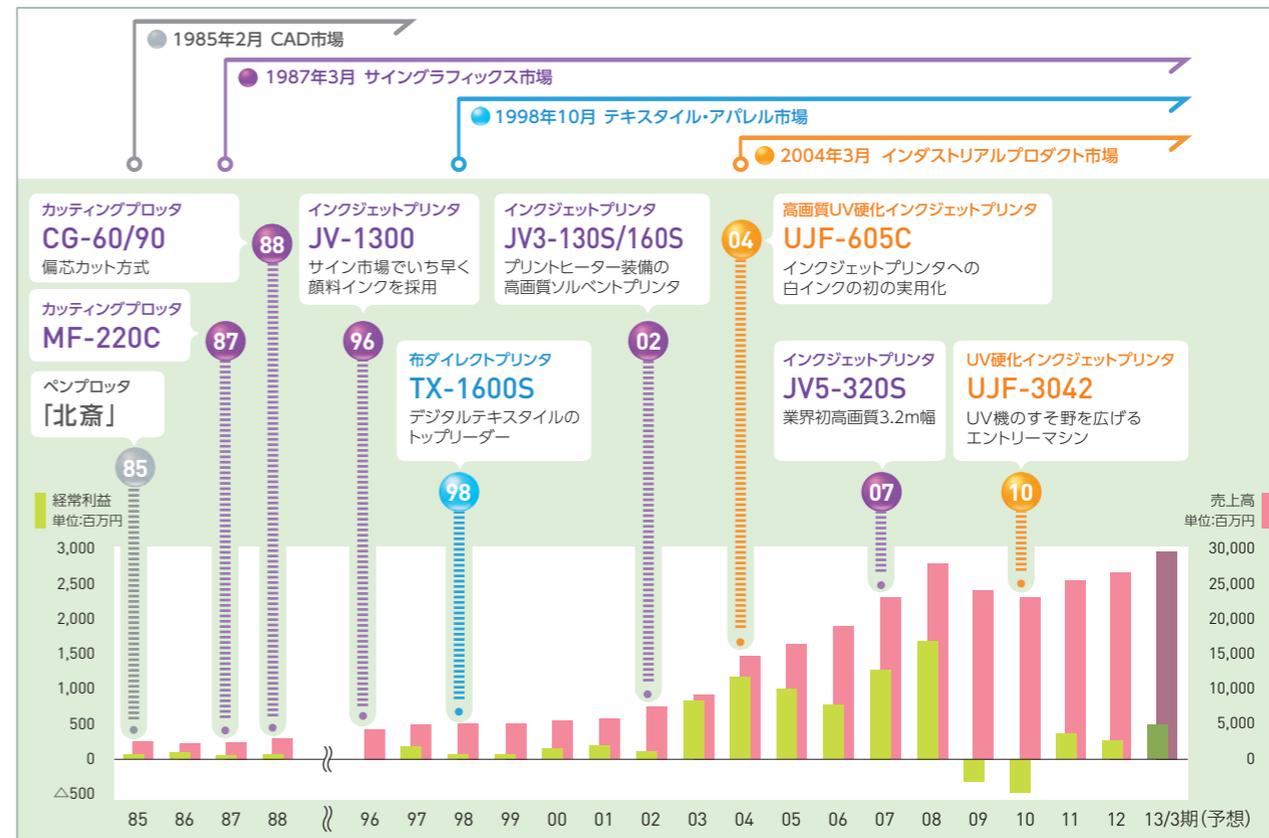
今後とも株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。
代表取締役社長 小林 久之

Trends in Business Performance

業績の推移

業績の推移

サイングラフィックス インダストリアルプロダクト テキスタイル・アパレル



ミマキエンジニアリングは、インクジェットとカットニングの技術を柱として、オンデマンド生産の可能性を追求する、市場志向の開発型企業を目指しています。

- | | | | | |
|--------|----------|---|----------|----------------------------------|
| 経営ビジョン | vision 1 | 独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。 | vision 3 | 市場に常に「新しさの違い」を提供するイノベーターを目指します。 |
| | vision 2 | 顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。 | vision 4 | 各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。 |

Financial Highlight

決算のポイント

◆ 2012年3月期 業績のポイント

売上高について

円高による為替の影響を受けたものの、SG・IP・TA各市場向けの機種群別区分においても、製品本体・インクの品目別区分においても順調に推移し、268億76百万円(対前期比4.9%増)と増収を確保いたしました。

利益について

一部の機種を当社から中国の製造子会社へ製造移管し、中国からの調達を積極的に行い、原価低減と為替リスクの低減に取り組まれましたが、円高影響に加え販管費の増加等により営業利益4億19百万円(同40.2%減)、経常利益2億74百万円(同21.9%減)となりました。当期純利益は、退職給付制度改定益の計上等により2億14百万円(同48.8%増)となりました。

◆ 2013年3月期の見通し

先行き不透明な事業環境の中、高生産性かつ環境に配慮した商品開発、プリント&カットによるトータルソリューション提供等、お客様の儲けにつながる提案を一層心掛け、“ユーザー視点で取組む”姿勢でオンデマンド・ビジネスのサポートの実現を目指し、増収・増益を見込んでおります。

ミマキエンジニアリングの市場シェア

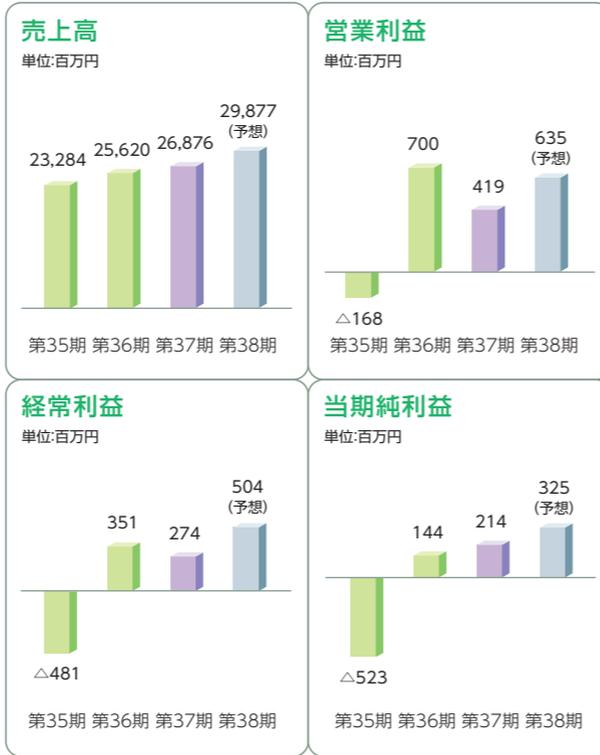
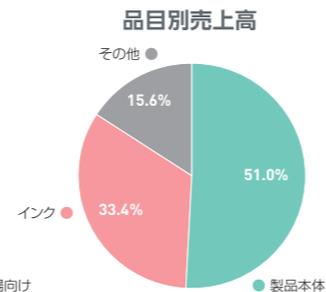
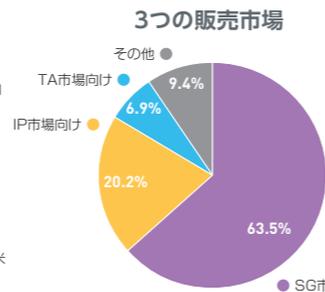
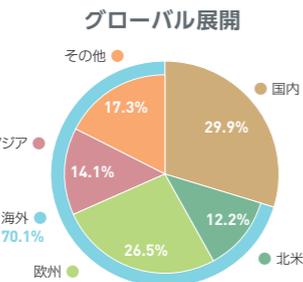
2012年3月期

連結売上高

26,876 百万円

対前期比

4.9%増



Segment Review

市場別概況

◆ 対象市場別概況 2012年3月期

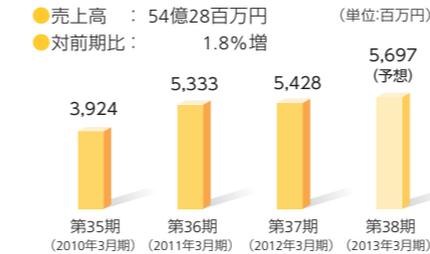
SG サイングラフィックス市場



当市場向け製品は、広告・看板等のサイングラフィックス市場向けの機種群です。当期は、既存製品を中心に拡販し、主力のJV33シリーズが市場価格対応の価格設定で台数を伸ばしましたが、販売額は伸び悩み、CJV30シリーズは好調でした。ドル・ユーロ安円高が大きく影響しましたが、上位機種のJV34-260が懸垂幕やのぼり等のソフトサイン向け用途で顕著に伸び、製品本体は底堅く推移しました。その結果、売上高は170億71百万円(対前期比3.1%増)となりました。



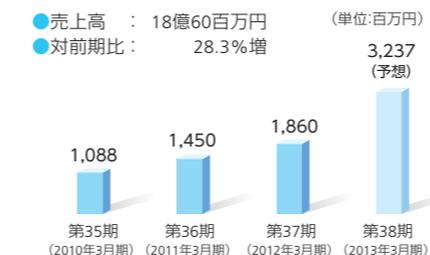
IP インダストリアルプロダクト市場



当市場向け製品は、工業製品の製造現場等のインダストリアルプロダクト市場向けの機種群です。当期は、環境対応に優れたUV硬化インク用の製品の価格と機能を充実させ、特にUJF-3042は、プリントビジネスを新たに試みるニーズに応え、多くのご支持をいただきましたが、さらに進化させ、2011年9月にUJF-3042FXを、2012年2月にUJF-3042HGを発売し、インク等消耗品売上も伸びました。その結果、売上高は54億28百万円(同1.8%増)となりました。



TA テキスタイル・アパレル市場



当市場向け製品は、裁断・縫製加工前の生地(テキスタイル)、Tシャツ等の既製服(アパレル)等の市場向け機種群です。当期は、デジタル捺染用プリンタのTx400-1800Dと伸縮素材の安定搬送を実現するTx400-1800Bを中心に、生産性とランニングコストの向上を訴求するデジタル捺染ビジネスの新たな提案とともに拡販に努め、Tx400シリーズの他に、既存製品のTSシリーズが伸びました。その結果、売上高は18億60百万円(同28.3%増)となりました。



新製品 1 デスクトップUVシリーズにモデル追加

デスクトップタイプLED方式
UV硬化小型フラットベッド
インクジェットプリンタ

UJF-3042HG

好評のUJF-3042シリーズに、高さ150mmまでの素材にプリントの可能なHG(High Gap)モデルを追加しました。さらにヘッド数を増やし、6色+白、4色+白+クリアのインクセットが可能になり、1台で多様なプリントニーズへの対応を実現しました。



新製品 2 世界初! 次世代インク搭載サイン用プリンタ2モデル同時発売

水性ラテックスインク搭載ワイドフォーマットインクジェットプリンタ

JV400-130/160LX

世界初ラテックス白インクを搭載。水性ラテックスインクにより、無臭・低VOC(揮発性有機化合物)・省エネ硬化を実現しながら、吸収層の無いPET/塩ビフィルム、布、木材等に滲みの無いプリントを実現しました。サインの表現力をアップします。



ソルベントUVインク搭載ワイドフォーマットインクジェットプリンタ

JV400-130/160SUV

世界初ソルベントUVインクを搭載。ソルベントの高光沢性と高堅牢性に加えて、UVの速乾性を併せ持ったドリームインクを新規開発しました。塩ビ、ターポリンを用いたサイン現場に強力な生産性と機能性を提供します。



新製品 3 新興国市場にマーケットイン

3.2m幅グランドフォーマットインクジェットプリンタ

SWJ-320 S2/SWJ-320 S4

新興国サイン市場のボリュームゾーンに直球勝負を挑む、低価格3.2m幅ソルベントインクジェットプリンタです。中国生まれの中国生産でありながら、要所は日本製部品を用い、低価格と高画質を両立しました。



新製品 4 ハイプロダクション500シリーズ登場

昇華転写紙用高速インクジェットプリンタ

TS500-1800

最速150m²/時の圧倒的な生産性を誇り、ヘビーユーザーの要求に応える安定性・低ランニングコストも兼ね備えた、生産設備と言えるフラグシッププリンタです。先進国・新興国を通じて成長著しいソフトサインやスポーツアパレル市場の標準機を目指します。



TS500-1800

新製品 5 ハイプロダクション500シリーズ 第2弾

ダイレクト昇華用高速インクジェットプリンタ

Tx500-1800DS

TS500モデルをポリエステル生地へのダイレクトプリントを可能としました。テキスタイル生地の捺染からソフトサインのプリントまで、昇華転写インクによるダイレクト染色の現場に最適です。転写紙が不要なため、環境負荷軽減に貢献します。



Tx500-1800DS

TOPIC

01 インドネシアに子会社設立

今後の経済発展に伴うデジタル化の進展により、当社製品の用途拡大が期待される東南アジア地域での販売網構築の一環として、インドネシアに子会社を設立いたしました。

子会社の概要

商号	PT. MIMAKI INDONESIA
設立	2011年11月9日
出資比率	当社99.5%、MIMAKI USA,INC.0.5%
操業開始	2012年4月
事業内容	当社グループ製品(インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク)のマーケティング、販売、テクニカルサービス、販売促進など

TOPIC

02 第4回ミマキまつりを開催

日頃より様々な関わりのある地域の皆様へ感謝の気持ちを表すとともに、当社の事業・製品の紹介をしながら楽しく触れ合うことを目的とした「第4回ミマキまつり」を2011年10月29日に開催いたしました。当日は、快晴にも恵まれ、約3,500名の方にご来場いただきました。



1985-2000

2001 2002 2003

2004 2005

2006 2007

2008 2009

2010 2011

2012 2013

Drafting Plotter ドラフティングプロッタ

1985 ■2月 MF-120 A2フラットペンプロッタ「北斎」	1986 ■4月 MX-11/10 サーボ方式縦型ペンプロッタ	1988 ■7月 MX-11/10P 鉛筆プロッタ	1989 ■5月 MR-11 サーマルプロッタ	1991 ■4月 MX-760/790 高速鉛筆プロッタ	1995 ■3月 JP-560/590 モノクロインクジェットプロッタ
1992 ■1月 CG-50 高速カッティングプロッタ	1994 ■1月 CG-6/9/12 海外向けローコストカッティングプロッタ	1996 ■10月 CAM LINK カットデータ変換・出力ソフトウェア	1997 ■1月 CG-100AP 1m幅Aバレル用型紙カッター	1993 ■1月 MX-340/360/390 ローコスト鉛筆プロッタ	1998 ■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ
1987 ■3月 MF-220C A2フラットカッティングプロッタ	1989 ■10月 CG-90SD 縦型カッティングプロッタ	1990 ■1月 CG-120 ローコスト自動送り付カッティングプロッタ	1991 ■6月 CG-45 デスクトップカッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ
1988 ■12月 CF-70 A1フラットベッドカッティングプロッタ	1990 ■1月 CG-120 ローコスト自動送り付カッティングプロッタ	1991 ■1月 CG-120 ローコスト自動送り付カッティングプロッタ	1991 ■6月 CG-45 デスクトップカッティングプロッタ	1994 ■1月 Vector Link PS対応カッティングソフトウェア (MacOS)	1998 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ
1988 ■11月 CG-90AP Aバレル用型紙カッター	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1992 ■12月 MI POP POP作成システム	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■12月 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ
1988 ■11月 CG-90AP Aバレル用型紙カッター	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■12月 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ
1988 ■11月 CG-90AP Aバレル用型紙カッター	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■12月 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ

Cutting Plotter カッティングプロッタ

1987 ■3月 MF-220C A2フラットカッティングプロッタ	1989 ■10月 CG-90SD 縦型カッティングプロッタ	1990 ■1月 CG-120 ローコスト自動送り付カッティングプロッタ	1991 ■6月 CG-45 デスクトップカッティングプロッタ	1992 ■1月 CG-50 高速カッティングプロッタ	1994 ■1月 CG-6/9/12 海外向けローコストカッティングプロッタ
1988 ■12月 CF-70 A1フラットベッドカッティングプロッタ	1990 ■1月 CG-120 ローコスト自動送り付カッティングプロッタ	1991 ■1月 CG-120 ローコスト自動送り付カッティングプロッタ	1991 ■6月 CG-45 デスクトップカッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1996 ■10月 CAM LINK カットデータ変換・出力ソフトウェア
1988 ■11月 CG-90AP Aバレル用型紙カッター	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1992 ■12月 MI POP POP作成システム	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ
1988 ■11月 CG-90AP Aバレル用型紙カッター	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1992 ■12月 MI POP POP作成システム	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■12月 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ
1988 ■11月 CG-90AP Aバレル用型紙カッター	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1992 ■12月 MI POP POP作成システム	1991 ■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ	1994 ■12月 MI POP POP作成システム	1997 ■12月 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ

Ink-jet Printer インクジェットプリンタ

1996 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1998 ■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1999 ■11月 JV2-180 大型カラーインクジェットプリンタ	2000 ■11月 TX Link テキスタイル用ソフトウェアRIP	2001 ■6月 JV4-130/160/180 大型フルカラーインクジェットプリンタ	2002 ■1月 DM2-1810 大型フラットベッドインクジェットプリンタ
1996 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1998 ■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1999 ■11月 JV2-180 大型カラーインクジェットプリンタ	2000 ■11月 TX Link テキスタイル用ソフトウェアRIP	2001 ■6月 JV4-130/160/180 大型フルカラーインクジェットプリンタ	2002 ■1月 DM2-1810 大型フラットベッドインクジェットプリンタ
1996 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1998 ■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1999 ■11月 JV2-180 大型カラーインクジェットプリンタ	2000 ■11月 TX Link テキスタイル用ソフトウェアRIP	2001 ■6月 JV4-130/160/180 大型フルカラーインクジェットプリンタ	2002 ■1月 DM2-1810 大型フラットベッドインクジェットプリンタ
1996 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1998 ■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1999 ■11月 JV2-180 大型カラーインクジェットプリンタ	2000 ■11月 TX Link テキスタイル用ソフトウェアRIP	2001 ■6月 JV4-130/160/180 大型フルカラーインクジェットプリンタ	2002 ■1月 DM2-1810 大型フラットベッドインクジェットプリンタ
1996 ■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1998 ■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ	1999 ■11月 JV2-180 大型カラーインクジェットプリンタ	2000 ■11月 TX Link テキスタイル用ソフトウェアRIP	2001 ■6月 JV4-130/160/180 大型フルカラーインクジェットプリンタ	2002 ■1月 DM2-1810 大型フラットベッドインクジェットプリンタ

2003 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2004 ■3月 UJF-605C フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2005 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2006 ■1月 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム	2007 ■1月 UJF-605C II フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2008 ■1月 IPF-1610B/1610B-U 産業用フラットベッドインクジェットプリンタ
2003 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2004 ■3月 UJF-605C フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2005 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2006 ■1月 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム	2007 ■1月 UJF-605C II フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2008 ■1月 IPF-1610B/1610B-U 産業用フラットベッドインクジェットプリンタ
2003 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2004 ■3月 UJF-605C フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2005 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2006 ■1月 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム	2007 ■1月 UJF-605C II フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2008 ■1月 IPF-1610B/1610B-U 産業用フラットベッドインクジェットプリンタ
2003 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2004 ■3月 UJF-605C フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2005 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2006 ■1月 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム	2007 ■1月 UJF-605C II フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2008 ■1月 IPF-1610B/1610B-U 産業用フラットベッドインクジェットプリンタ
2003 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2004 ■3月 UJF-605C フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2005 ■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ	2006 ■1月 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム	2007 ■1月 UJF-605C II フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ	2008 ■1月 IPF-1610B/1610B-U 産業用フラットベッドインクジェットプリンタ

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科目	前期	当期
	2011年3月31日現在	2012年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,231	18,976
固定資産	7,124	6,730
有形固定資産	5,734	5,562
無形固定資産	323	285
投資その他の資産	1,065	882
資産合計	22,355	25,707
負債の部		
流動負債	13,003	16,417
固定負債	3,130	3,138
負債合計	16,134	19,555
純資産の部		
株主資本	6,864	6,985
資本金	2,015	2,015
資本剰余金	1,905	1,905
利益剰余金	3,136	3,258
自己株式	△ 192	△ 192
その他の包括利益累計額	△ 678	△ 868
新株予約権	35	34
純資産合計	6,221	6,151
負債純資産合計	22,355	25,707

連結株主資本等変動計算書(要旨)

当期(自2011年4月1日至2012年3月31日)

単位:百万円	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
2011年4月1日残高	2,015	1,905	3,136	△ 192	6,864	△ 6	△ 672	△ 678	35	6,221
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 93		△ 93					△ 93
当期純利益			214		214					214
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 0	△ 189	△ 190	△ 0	△ 190
連結会計年度中の変動額合計	-	-	121	-	121	△ 0	△ 189	△ 190	△ 0	△ 69
2012年3月31日残高	2,015	1,905	3,258	△ 192	6,985	△ 6	△ 862	△ 868	34	6,151

連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科目	前期	当期
	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日
売上高	25,620	26,876
売上原価	14,980	16,003
売上総利益	10,640	10,873
販売費及び一般管理費	9,939	10,454
営業利益	700	419
営業外収益	66	118
営業外費用	415	263
経常利益	351	274
特別利益	19	102
特別損失	65	499
税金等調整前当期純利益	305	376
法人税、住民税及び事業税	48	201
法人税等還付税額	△ 29	△ 5
法人税等調整額	141	△ 34
当期純利益	144	214

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

科目	前期	当期
	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 184	2,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 508	△ 333
財務活動によるキャッシュ・フロー	869	762
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 71	△ 71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105	2,405
現金及び現金同等物の期首残高	2,282	2,388
現金及び現金同等物の期末残高	2,388	4,794

Company Profile / Stock Information

会社概要・株式情報

会社の概況(2012年3月31日現在)

商号	株式会社ミマキエンジニアリング
設立	1975年8月
資本金	20億1,516万円
本社・工場	長野県東御市滋野乙2182-3 0268(64)2281(代表)
従業員	連結947名/単体556名
事業内容	コンピュータ周辺機器及び ソフトウェアの開発・製造・販売
取引銀行	株式会社八十二銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行

役員(2012年6月27日現在)

代表取締役会長	池田 明
代表取締役社長	小林 久之
取締役副社長	佐金 榮
専務取締役	藤田 正秋
取締役	木村 信行
取締役	杉本 義郎
取締役	今田 新太郎
取締役相談役	田中 規幸
常勤監査役	土屋 理義
監査役	今井 征芳
監査役	岩下 智和
監査役	土屋 幸夫

株式の状況(2012年3月31日現在)

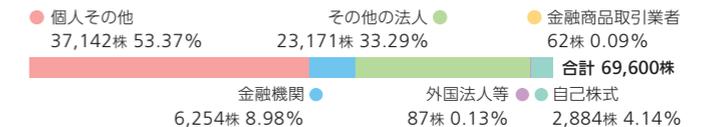
発行可能株式総数	200,400株
発行済株式の総数	69,600株
株主数	2,113名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	10,766	15.47
ミマキエンジニアリング従業員持株会	6,629	9.53
田中 規幸	6,250	8.98
有限会社田中企画	6,000	8.62
東京中小企業投資育成株式会社	3,810	5.47
株式会社八十二銀行	2,100	3.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,074	2.98
池田 明	2,021	2.90
アヴァシス株式会社	1,800	2.59
野村信託銀行株式会社	1,450	2.08

(注)当社は自己株式2,884株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

所有者別株式分布状況



株式インフォメーション

株式の分割及び単元株制度の採用について

当社は、2012年2月10日開催の取締役会決議に基づき、当社普通株式1株を200株に分割いたしました。当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図ることを目的としております。また、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、単元株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。この株式分割及び単元株制度の採用により、投資単位は実質的に2分の1となりました。

基準日	2012年3月31日
効力発生日	2012年4月1日
分割後の発行済株式総数	13,920,000株
分割後の発行可能株式総数	40,080,000株
単元株式数	100株

※全ての記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。